

「当たり前」のことが「当たり前」にできる子を育てる第三小学校の教育

学校だより

No. 3

青梅市立第三小学校
校長 八木 慎一

令和5年5月31日

青梅市大門 2-317 電話 0428-31-7266 学校HP <https://www.city.ome.tokyo.jp/school/daisan/-e/>

「個に応じた指導」で育つ自己肯定感

校長 八木 慎一

先日の学校公開には、たくさんの保護者の皆様にご来校いただき、ありがとうございました。時間を指定しての3グループに分けた参観ではありましたが、子供たちの様子をしっかりとご覧いただけたのではないのでしょうか。また、学校公開についてのアンケートにもたくさんのご回答をいただきありがとうございます。いただいたご意見をしっかりと受け止め、改善に努めてまいります。なお、「アフター・コロナ」の世の中となりましたが、教室のスペースが狭いこと等も踏まえ、今後もグループに分けた参観を続けるのか、フリーにするのかは検討中です。ご了解ください。

さて、学校公開の際に「算数少人数指導」を公開した学年があったためか、この指導方法についてのご質問を複数の方からいただきましたので、今回の巻頭言で説明いたします。

子供たちに確かな学力を定着させるためには、一人一人の学習状況に応じたきめ細かい指導が必要です。算数は教科の中でも特に習熟度の差が生じやすい教科であり、一人一人の習熟の状況に応じた指導が必要になります。そのため、本校を含めた都内の多くの小学校で、算数は習熟度別の少人数クラスでの指導がされています。クラス分けは、学年全体の児童を、担任の人数に算数担当1名を加えた数で分け、1クラスあたりの人数を減らして、単元前の習熟の度合い等を考慮して行います。

少人数指導のメリットとして、①教員の目が行き届き、よりきめ細かい指導ができること ②クラスの習熟状況に応じた指導ができること ③学級の枠を越えた集団を形成できること ④相互交流（意見交流）の機会を増やせること ⑤少人数担当が算数だけに時間を割いて準備した教材を学年全体で共用できること等、が挙げられましょう。これらのことにより、習熟が早いクラスでは発展的な学習を行い、習熟に必要なクラスでは既習の復習や補充学習を行うなど、一人一人の学習の状況に応じたよりきめ細かい指導ができます。

三小ではこれからも、子供たちが「わかる喜び」を感じ「できる楽しさ」を味わいながら、（自分はできるんだ）という自己肯定感と、確かな学力を育てていきたいと思っております。

生活指導部より

【5 類感染症への移行後の学校における新型コロナウイルス感染症対策について】

1 マスク着用の有無

学校教育活動ではマスクの着用を求めないことを基本とします。また、様々な理由から着用を求める児童にはマスクの着脱を強いることはしません。

2 換気対策の継続

換気対策は感染防止上必要であることから現在の対策・方法を継続していきます。

3 コロナ感染が流行していると見られる場合

状況によってマスク着用等を促す場合もあります。(1枚ランドセルに入れておいてください)

4 授業等

班活動・班の話し合いなどは行いますが大声での会話は控えます。

合唱等を行いますが一定の距離を確保し、向かい合っでの歌唱は原則控えます。

運動等では、大声での発声を控えます。

5 給食

前後の手洗いを丁寧に行います。喫食中は大声の会話は控えます。

6 検温等の廃止

検温及びその記録表の提出は求めません。宿泊行事・水泳等の学習は健康観察が必要なことから従来通り検温及びその記録を行います。

教務部より

【通知表について】

今年度も夏季休業中に行う個人面談で、お子さんの学習面や生活面についてお伝えいたしますので、通知表の所見欄の記載は省略させていただきます。ご承知おきください。

なお、個人面談日程の調整は後日担任を通じて行います。よろしく願いいたします。

【教育法務相談員の配置について】

昨年度に引き続き、教育委員会内に、弁護士資格を有する教育法務相談員が週3日勤務しております。保護者の方も、いじめ問題等の御相談ができます。ただし、個別事案の御相談には応じられない場合があります。御希望の方は、学校を通してお申し込みください。

ICTの活用

児童一人一人に Chromebook が配布されてから3年が経ちました。今では教具として Chromebook を使うことが当たり前となり、これまでの授業の形と大きく変化しました。調べ学習のツールとしてだけでなく、考えや意見を表現したり、友達と意見を共有したりと、ICT機器を有効に使うことができるようになってきました。

ICTを活用することのメリットとして、自己調整をしながら学習を広げたり深めたりする「個別最適な学び」や、様々な人と関わりながら学び、学んだことを人生や社会づくりに生かそうとする「協働的な学び」の充実が強調されています。授業内だけでなく、家庭学習や自主学習にも生かすことができます。ご家庭でも、お子様が今どのような学習をしているのか、どのようなことに興味関心を持っているのか、見ていただくと幸いです。

三小では、今後もICT機器の効果的な活用を推進し、これまでの教科書、ノート等を活用した学習形態と Chromebook をはじめとするICT機器を活用した学習形態を合わせた授業の研究を続けていきます。今後とも、ご理解・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

かすみ学級

何にでも全力な5年生

かすみ学級の5年生の取り組みを2つ紹介します。

一つは、総合的な学習で取り組んでいる「日本一周」の学習です。47都道府県を1時間に1つずつ調べます。都道府県の紹介動画を見ることで、各地の特産物や観光名所を知ることができます。地図帳も活用し、ワークシートの白地図に地名や特産物を書き込んでいきます。初めて知ることや世界遺産が出てくると、「旅行で行ってみたいな。」「夏休みに行ったことがあるよ。」と、楽しみながら学習することができています。

もう一つは、「5年なかよしタイム」の取り組みです。集団遊びを通して、思いやりの気持ちをもち友達と仲良く過ごすこと、ルールを守ることをめあてに、楽しく学習しています。話し合いをして、みんなで遊べる遊びを考えました。「サッカーやバスケットボールは、苦手な子がいるからどうしようか。」と悩んだり、「鬼ごっこは、鬼が二人いた方が心強いよね。」とアイデアを出したり、意見を出し合うことができました。遊びを通して、心の成長を見守っていきたいと思います。

6年生

6年生として成長をした3日間

5月22日（月）から5月24日（水）の3日間、日光移動教室に行ってきました。6年生の保護者の皆様には、荷物やお弁当の準備、書類提出など、たくさんご協力いただきましてありがとうございました。

当日は天気が安定しなく、雨の中での活動となったものもありましたが、1年生からもらった「てるてる坊主」のパワーで、全ての活動を行うことができました。この3日間、「話の聞き方」「グループでの行動の仕方」「係の仕事に責任をもって取り組む姿勢」等、成長をととても感じました。前日より素早く、上手にできるようになっている子供たちの様子を目の当たりにし、担任としてとても誇らしかったです。これからも最上学年として、学校全体を引っ張っていてもらいたいです。

2年生

★消防写生会を行いました！

5月9日（火）に毎年2年生が参加している「消防写生会」を実施しました。これは青梅消防署さんが主催で行っているもので、青梅市の全ての2年生が参加しています。とてもよい天気のもと、子供達は自分の好きな車（消防車、救急車、ポンプ車）を選んで描きました。こげ茶のクレヨン1本で、じっくりと見ながら描くことができました。

絵が描き終わった後に、消防士さん達のご配慮で、車の中を見せていただくことができました。救急車の中は普段見たことがない子が多かったので、とても新鮮でした。また、いつも消防士さんが着ている「服」を着させていただくことができました！着させてもらった子は大喜び！楽しい貴重な時間を過ごすことができました！